

照射方向自在式コンパクト 高欄照明

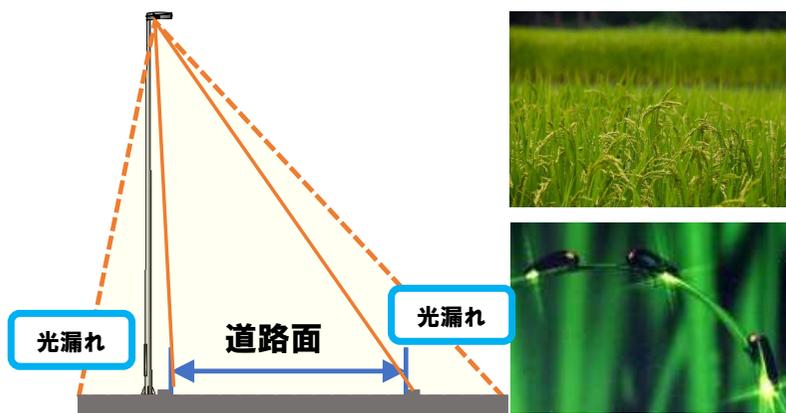


INAXBA
株式会社 因幡電機製作所

【道路照明の背景】

道路照明は夜間の道路交通の「安全」を目的に設置

一方で照明柱が建柱出来ない、光害、落下・倒壊、保守メンテ管理費用の課題



光漏れによる農作物などの影響



保守メンテの道路規制



事故による灯具落下

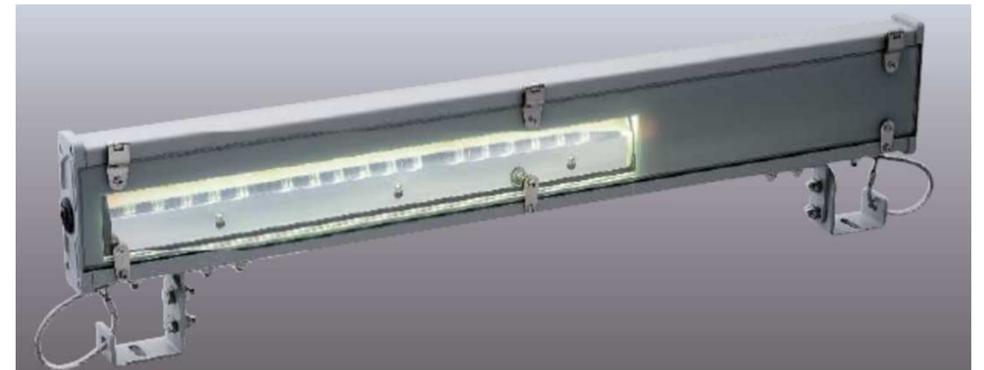
【道路照明と高欄照明】

道路照明の課題を解決

	メリット	デメリット
道路照明	<ul style="list-style-type: none">・ 広範囲に照射が可能・ 路面の明暗が少ない・ 眩しさが少ない	<ul style="list-style-type: none">・ 照明柱が必要・ 建柱出来ない場所が有る・ 高所作業車・重機が必要・ 灯具落下・照明柱倒壊リスク
高欄照明	<ul style="list-style-type: none">・ 建柱が不要・ 施工・維持管理が容易	<ul style="list-style-type: none">・ 照射範囲が狭い・ 眩しさを感じる

【従来品高欄照明の課題】

- 照射方向調整時に建築限界を侵す危険性有り
- 夜間道路線形やカーブ緩急が判断しにくい
- 全幅が長く施工しにくい



【課題解決】

安全性の向上、メンテナンスの効率化、経済性の向上実現

照射方向自在式コンパクト高欄照明を開発

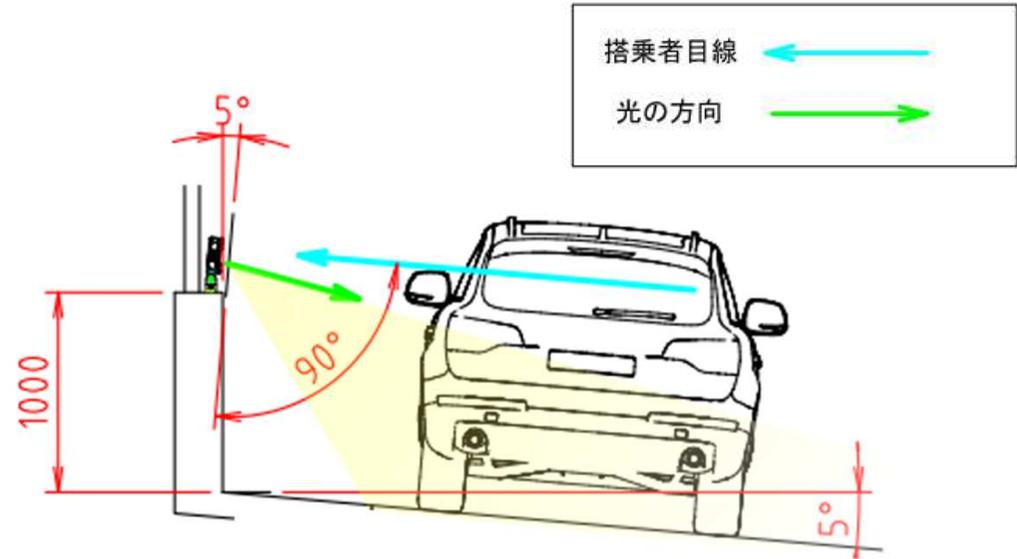


【製品概要】

高欄照明は高欄壁に設置
照射範囲や道路勾配に合わせて器具角度調整必要
器具角度調整した際に建築限界を侵す危険性有り



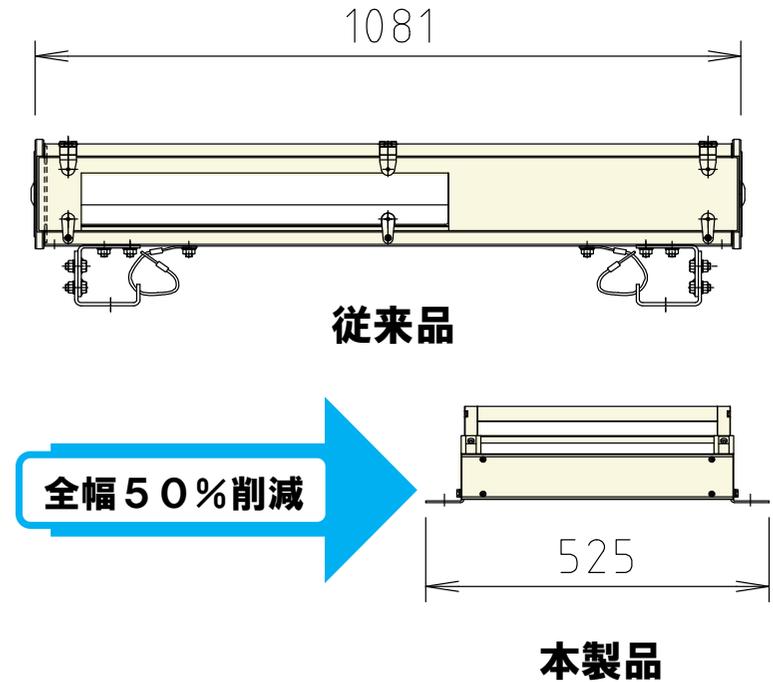
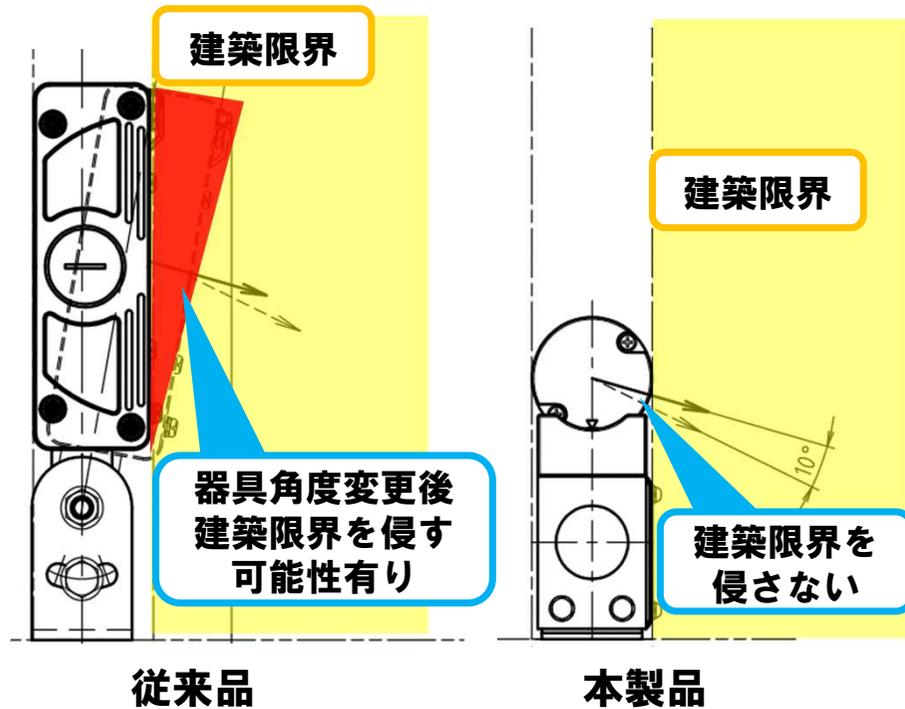
一般的な高欄照明



道路勾配に合わせて器具角度の調整

【製品概要】

光源部をコンパクトな円筒形状、建築限界を侵さない形状
全幅は従来品と比較し**50%削減**



【製品概要】

器具端部には黄色視線誘導灯付き
道路線形やカーブ緩急を判断する視覚材料の一部として安全性を向上

光源部

黄色視線誘導灯



電源接続部

黄色光を採用



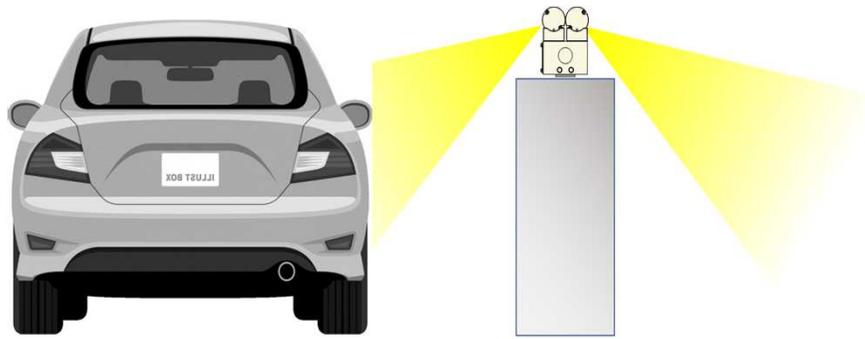
実環境実験施設 見え方試験 (高欄照明設置イメージ)

INAXBA
株式会社 因幡電機製作所

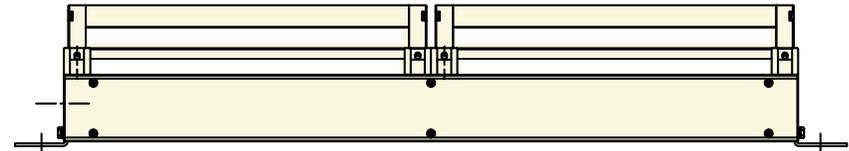
【本製品の応用性】

車歩道両面照射・中央分離帯用両側照射・複数車線照射タイプ

歩道橋・橋梁にも設置可能



車歩道両面照射タイプ
中央分離帯用両側照射タイプ



複数車線照射タイプ



歩道橋・橋梁にも設置可能

照射方向自在式コンパクト 高欄照明



INAXBA
株式会社 因幡電機製作所